

青森行動計画の策定について

～地域の皆さまと共に「つくり」「はぐくみ」「あゆみつづけて」まいります～

2019年3月28日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、地域の一員として、事業を着実に進めながら、地域の未来にも貢献していくため、青森行動計画『ここで、「つくり」「はぐくみ」「あゆみつづける』』（以下、行動計画）を策定いたしました。

行動計画では、当社が地域に根ざした事業活動を進めていくため、6つの基本姿勢「安全性の追求」「原子力事業の推進」「地域に根ざした事業推進体制の構築」「持続可能な地域の共創」「原子力人財の育成・確保と技術の継承・発展」「積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化」をお示ししております。

当社は、この基本姿勢に基づき、今後様々な取り組みを行ってまいります。

具体的には「地元本位」の姿勢をゆるぎないものとするため、新たな組織「青森事業本部」を設置する（来年度上期中を目途）ほか、東通村地域再生計画への協力など、地域に根をおろして事業を進めるとともに、地域の一員として、地域と共に持続的な発展に貢献できるような取り組みを検討、実施してまいります。

当社は、本行動計画に基づき、地域の皆さまからのご意見・ご要望にも真摯に向き合い、地域の皆さまと共に「つくり」「はぐくみ」「あゆみつづけて」まいります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 原子力広報グループ 03-6373-1111（代表）



青森行動計画

～ ここで、「つくり」「はぐくみ」「あゆみつづける」 ～

2019年3月28日

【ここで、「つくり」】

私たちは、比類なき安全を追求し、世界に誇れる最新鋭の原子力発電所を建設・運営してまいります。また、原子燃料サイクル事業を最大限支援してまいります。

【ここで、「はぐくみ」】

私たちは、地域の一員として、原子力事業を進めながら、安全・安心で暮らしやすい持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

【ここで、「あゆみつづける」】

私たちは、長きにわたる原子力事業を通じ、地域の一員として、地域の未来を共に描き、歩んでまいります。

〈はじめに〉

青森県は、原子力発電、使用済燃料の再処理や中間貯蔵を含む原子燃料サイクルを担う極めて重要な地域です。一方、多くの施設は、地域からご誘致いただきながら、これまで様々な要因により、未だ事業開始に至っていない状況にあります。とりわけ、当社東通原子力発電所に関しましては、東通村が昭和40年に議会で誘致決議をしていただいて以降、半世紀以上一貫して原子力との共生を核とした地域づくりを進めている中、建設工事の中断により、自治体運営や地域経済等に大きな影響を及ぼしており、当社として大変重く受け止めております。

東通原子力発電所は、電源の分散立地、より安全で競争力のある電源開発のメリットの享受の面からも「拡張可能性を有する長期的有望地点」として、当社にとって重要かつ不可欠な地点であります。また、原子力産業全体の技術継承や「安全性を前提とした上で、エネルギーの安定供給を第一とし、経済効率性の向上による低コストでのエネルギー供給を実現し、同時に、環境への適合を図る（3E+S）」ためにも、東通原子力発電所の建設・運営が重要と考えております。

また、エネルギー基本計画では、資源の有効利用等に資する原子燃料サイクルについて、これまでの経緯等も十分に考慮し、引き続き関係自治体の理解を得つつ、再処理等を推進することが記載されており、当社としても、中間貯蔵・再処理等の原子燃料サイクル事業の推進に引き続き全力で取り組んでまいります。

原子力事業は、立地から廃止まで長きにわたる事業であり、地域のご理解・ご協力がなければ成り立ちません。そうしたことも踏まえ、私たちは、東通村をはじめ青森県内における原子力事業をやり抜く決意を改めてお示するとともに、地域に根ざし、事業を進めながら、地域の未来にも貢献していくための方針を、行動計画として策定し取り組むことといたしました。

本計画では、今後の事業の推進に関して、以下6つの項目に対する基本姿勢をお示いたします。この基本姿勢をベースに事業を展開し、地域への貢献も具体化してまいります。その際は、地域の皆さまからのご意見・ご要望等を踏まえ、今後順次実施していく当社の具体的な取り組みに反映してまいります。

1. 安全性の追求
2. 原子力事業の推進
3. 地域に根ざした事業推進体制の構築
4. 持続可能な地域の共創
5. 原子力人財の育成・確保と技術の継承・発展
6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化

本計画の下で、私たち社員一人ひとりが地域の一員として、真摯に行動し、原子力事業と地域の未来を地域の皆さまと共に「つくり」、「はぐくみ」、「あゆみつづけて」まいります。

1. 安全性の追求

より高い安全レベルを目指し挑戦を続けてまいります

私たちは、「福島第一原子力発電所事故を決して忘れることなく、昨日よりも今日、今日よりも明日の安全レベルを高め、比類なき安全を創造し続ける原子力事業者になる」との決意の下、安全性を絶えず問い続ける企業文化、責任感を確立する取り組みを継続するとともに、事故の当事者として、新規制基準の要求のみならず、更なる安全性向上のために、先進的な国内外事業者の優れている取り組みを取り入れていくことで世界最高水準の原子力安全の達成を目指してまいります。

新たに建設する東通原子力発電所につきましては、設計・建設段階からそのような考えを果敢に取り入れ、安全最優先で建設・運営してまいります。

2. 原子力事業の推進

東通原子力発電所、原子燃料サイクル事業を全力で進めてまいります

私たちは、誘致から長きにわたり原子力事業を推進し、ご支援頂いている地域の皆さまの想いを重く受け止め、東通原子力発電所のプロジェクトを強い決意をもって進めてまいります。現在実施中の地質調査を確実に進め、最新鋭の世界に誇れるプラントの建設に向け、共同事業化に全力で取り組んでまいります。また、日本原燃やりサイクル燃料貯蔵が進める原子燃料サイクル事業につきましても、関係者一丸となって全力で取り組んでまいります。

3. 地域に根ざした事業推進体制の構築

地域に根ざした体制を構築し、地域とともにある事業運営を実現してまいります

私たちは、地域との更なる信頼関係の構築に加え、より主体的かつ責任を持って原子力事業を進めていくことを目指してまいります。そのため、当社東通原子力発電所の建設・運営や原子燃料サイクル事業の支援につきまして、より地域に根ざした事業運営を具体化していく組織として、「青森事業本部」を青森県内に設置いたします。同本部を核として、今後、事業推進するとともに地域への貢献等を検討、実施してまいります。

4. 持続可能な地域の共創

地域に根を下ろし、地域の一員として、地域の持続的な発展をともに創りあげてまいります

当社が原子力事業を進める上で展開する様々な取り組みの中には、地域の安心や豊かな暮らしに貢献できるものがあります。一方、地域の持続的な発展のための取り組みは、私たちの事業基盤につながるものもあると考えております。

このようなことから、地域の発展と当社の事業は、相互に連携するものとして、地域のみならず共に、持続的で豊かな未来を描き、歩んでまいります。

東通原子力発電所の建設・運営においては、このような地域共創の観点から、職員の働く場、職員や家族の暮らす場・学ぶ場、そして原子力防災等に関する事業環境整備などを通じた地域への貢献についても共に考え、取り組んでまいります。

また、原子力事業やそのメリットを踏まえた展開の可能性も、自治体等とも連携して考えてまいります。

5. 原子力人財の育成・確保と技術の継承・発展

将来にわたり安全を最優先に原子力事業を進めていくため、人財を育成・確保し技術を継承・発展させてまいります

私たちは、原子力事業を通じた低廉で安定的なエネルギーの供給などにより、立地地域はもとより広く社会に貢献していきたいと考えております。

そのため、最新鋭の東通原子力発電所の建設・運営等を通じて、原子力人財の育成・確保と技術の継承や更なる発展に不断に取り組んでまいります。

6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化

積極的に情報を発信し、声を受け止め、主体的に行動してまいります

私たちは、地域に根ざした企業として、これまで以上に、当社事業の状況等について積極的に情報発信・対話するとともに、地域行事やボランティアなど地域活性化に資する活動へ積極的に参加してまいります。

このような取り組みを通じて、社員一人ひとりが地域の一員として、地域からの声を自分事として受け止め、事業活動などに活かすよう、主体的に行動してまいります。

以上